
平成23年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成23年2月24日

質問者（質問順）

- 1 坂井 太 委員（自民党）
- 2 市野 太郎 委員（民主党）
- 3 望月 康弘 委員（公明党）
- 4 太田 正孝 委員（無所ク）
- 5 白井 正子 委員（共産党）
- 6 山田 桂一郎 委員（ヨコ会）
- 7 杉山 典子 委員（ネット）
- 8 大山 正治 委員（民主ク）

水道局

局 別 審 査

1 坂 井 太 委員（自民党）

1 平成23年度水道事業会計予算について

- (1) 水道事業経営の現況について伺いたい。
 - (2) 23年度予算の料金収入の見込みはどうか。
 - (3) 神奈川県内広域水道企業団が料金改定を行うに至った経緯について伺いたい。
 - (4) 料金改定の具体的な内容と本市における改定の効果額はどのくらいか。
 - (5) 23年度予算編成にあたって特に重点を置いた点は何か。
- (要望) 水道料金の減収傾向など厳しい経営環境にある中で、計画的な施設整備を進めていくとともに、安定した経営状況を維持していけるよう、より一層財政の健全性や経営基盤の強化に努めるよう要望します。

2 老朽管更新事業について

- (1) 老朽管の更新の進捗状況と耐震化率について伺いたい。
- (2) 今後の更新対象管路について伺いたい。
- (3) 老朽管更新事業の財源確保とコスト縮減策について伺いたい。
- (4) 100年管の特徴とは何か。
- (5) 100年管の効果と採用計画について伺いたい。

3 技術の継承について

- (1) 技術継承や技術力向上の現在の取組について伺いたい。
- (2) マスターエンジニア制度の目的と効果について伺いたい。
- (3) マスターエンジニアの認定基準について伺いたい。
- (4) マスターエンジニアの専門分野について伺いたい。

4 海外水ビジネスの展開について

- (1) 海外水ビジネスの23年度の取組について伺いたい。

- (2) 本市の強みについて、どのように考えているのか。
- (3) 横浜ウォーター株式会社とどのように連携して取り組んでいくのか。
- (4) 水ビジネスの拡大に向けた今後の重要な取組について、副市長に伺いたい。

5 水源エコプロジェクト（W-e c o・p）について

- (1) ウィコップの目的と制度概要について伺いたい。
 - (2) ウィコップ参加企業・団体の現状と実績について伺いたい。
 - (3) ウィコップ参加企業・団体の具体的な取組について伺いたい。
 - (4) ウィコップの今後の展開について伺いたい。
- (要望) この活動は、環境最先端都市を目指す横浜市全体にとっても非常に良い活動であり、横浜市が水源保全を真摯に考え、水源の道志村民と横浜市民が一体となって水源の森を守る、そんな方向へ結びついていくことを期待している。この事業の目的をしっかりと認識しながら、さらに多くの企業や団体に呼びかけ、水源保全の財源確保に向けて取組を推進するよう要望します。

1 水道事業の経営状況について

- (1) 過去3年間の水道料金収入の状況はどうか。
- (2) 水道料金収入が減少する中でのこれまでの取組について伺いたい。
- (3) 今後の水道事業経営の方向性について、どのように考えているのか。

2 水道施設耐震化・老朽管更新について

- (1) 水道施設の耐震化について、どのような考え方で進めているのか。
- (2) 基幹施設の耐震化計画について伺いたい。
- (3) 基幹施設の耐震化の進捗状況と23年度の取組について伺いたい。
- (4) 法定耐用年数を超えた管路延長はどのくらいあるのか。
- (5) 管路更新の終了年度はいつか。
- (6) 基幹管路とは何か。また、全国的にみた耐震適合率はどうか。

3 人材の育成と技術の継承について

- (1) マスターエンジニアの職務について伺いたい。
- (2) マスターエンジニア補の選定基準について伺いたい。
- (3) マスターエンジニア制度の今後の運用スケジュールはどうなっているのか。
- (4) マスターエンジニアの今後の展開について伺いたい。

4 国際貢献の推進について

- (1) 水道局は、なぜ国際協力事業に取り組んでいるのか。
- (2) 水道局の国際協力事業のこれまでの歴史について伺いたい。
- (3) 国際協力事業の実績について伺いたい。
- (4) 22年度に国際協力事業と水ビジネスをなぜ同じ部署で所管することになったのか。
- (5) 今後、これまで続けてきた国際協力事業の取組が変化してしまうことを懸念しているが、局長の見解を伺いたい。

(6) 国際協力事業と水ビジネスを担当する職員は、完全に分かれるという認識でよいのか。

5 水源地域の森林の外国資本による買収について

(1) 本市の水源地では買収の動きはないのか。

(2) 道志村の状況と買収対策について伺いたい。

(3) 道志村の水源地の保全に向けた今後の対応について伺いたい。

6 おいしい水について

(1) 安全でおいしい水を供給するための取組について伺いたい。

(2) カルキ臭からみたおいしい水の指標と現状について伺いたい。

(3) 残留塩素濃度の低減策として、どのようなことに取り組んでいるのか。

(4) 水道水のおいしさと安全性をPRする取組について伺いたい。

(要望) 横浜といえば、「安全でおいしい水」ということを、横浜市民はもちろんのこと、横浜を訪れる皆様にも発信しながら、今後も横浜のおいしい水に対する様々な取組を推進し、広く効果的にPRするとともに、横浜水道のブランド価値を高めるような取組を行うよう要望します。

3 望月康弘委員（公明党）

1 平成23年度水道事業会計について

- (1) 純利益42億円の用途は何か。
 - (2) 水道料金収入が減少していることについて、現状をどのように分析しているのか。
 - (3) 企業等の水使用の実態についての調査はしているのか。
 - (4) 水道料金収入の今後の傾向についてどのように考えているのか。
- (要望) 収入の大部分を占める水道料金が、このまま減収が続いていくことは水道事業運営に支障をきたすことになる。水道の利用実態を分析して、減収の要因や課題を見つけて水道料金収入の安定や増収策を図る取組をするよう要望します。

2 安全でおいしい水づくりへの取組について

- (1) 本市独自の水質目標に基づく水質管理について
 - ア 本市独自の水質目標とはどのようなものか。
 - イ 独自の水質目標を設定した目的について伺いたい。
 - ウ 独自の水質目標達成に向けたこれまでの取組について伺いたい。
 - エ 水質の目標達成状況はどうか。
 - オ 目標達成に向けた今後の取組について伺いたい。
 - カ 精度の高い水質検査を行うための取組について伺いたい。
- (2) 塩素注入量低減化によるカルキ臭対策について
 - ア 自動水質測定装置の具体的な運用体制について伺いたい。
 - イ 自動水質測定装置の本格稼働のメリットとは何か。
- (3) 横浜のおいしい水検定について
 - ア 「横浜のおいしい水」検定の目的について伺いたい。
 - イ 22年度の実施内容と結果について伺いたい。
 - ウ 23年度の実施内容はどのようなものか。
- (4) 4階直結直圧式給水のこれまでの実績について伺いたい。

(要望) これまで尋ねきた取組など、こうしたおいしい水づくりの努力や成果を、ホームページやポスターによる広報にとどまらず、市民と触れ合う場など様々な場面を通じて啓発していただきたい。まだ十分には伝わっていないと思うし、市民に知ってもらうことは大事と考える。「蛇口回帰」へ向け、これまで以上の努力を積み重ねるよう要望します。

3 水道水を安定して給水するための取組について

- (1) 老朽管更新事業の開始年度及び対象管種の変遷について伺いたい。
- (2) 大規模水道事業体の管路更新率との比較について伺いたい。
- (3) 鉛管改良の取組状況はどうなっているのか。
- (4) 宅地内水道メーターまわり鉛製給水管の今後の改良計画について伺いたい。
- (5) 今回のような消火栓の事故による被害状況と発生原因について伺いたい。
- (6) 水道局と消防局の消火栓点検で、腐食を発見して事故を防ぐことができなかったのはなぜか。
- (7) 消火栓の対応計画と22年度の進捗見込みはどうか。

4 国際貢献・海外水ビジネス・横浜ウォーター株式会社について

- (1) 海外研修員受入事業について、どのように考えているのか。
- (2) コンサルティング事業を実施する効果とは、どのようなものか。
- (3) 他都市との関係はどうか。
- (4) 公民連携への取組について伺いたい。
- (5) 今後の重点的な取組について伺いたい。

5 人材育成と技術の継承について

- (1) 技術職員の人材育成にどのように取り組んでいるのか。
- (2) 技術者養成研修の拡充内容について伺いたい。
- (3) 技術者養成研修の効果とは、どのようなものか。

4 太田正孝委員（無所ク）

1 水道局予算について

- （1）水道局の職員定数及び人件費について伺いたい。
- （2）他都市と比較した水道料金について伺いたい。
- （3）マイボトルマイカップキャンペーンについて伺いたい。
- （4）はまっ子どうしについて伺いたい。
- （5）横浜ウォーター株式会社について伺いたい。

5 白井正子委員（共産党）

1 水道料金の口座振替払いについて

- (1) キャンペーンの目的と具体的な取組について伺いたい。
- (2) 22年度のキャンペーンの実施状況と経費削減効果はどうだったのか。
- (3) キャンペーン実施前後における口座振替の件数と割合について伺いたい。
- (4) 割引制度の導入に対する局長の見解を伺いたい。

2 横浜ウォーター株式会社について

- (1) 浄水場管理の受託に向けた市場調査と今後の見込みはどうか伺いたい。
- (2) 他水道事業体の情報収集はどのような現状なのか。
- (3) 国際関連事業に社員を配置していないのはなぜか。
- (4) 主要事業として発展させていくためには人の配置は必要と考えるが、現段階で、その考えはないのか。
- (5) 横浜ウォーター株式会社の収益に対して過大な期待をせずに、水道事業者として本業を堅実に行っていくべきと考えるが、局長の見解を伺いたい。

1 納入通知書誤投函、水道料金誤請求等の事故対策について

- (1) 21年度及び22年度に発生した事務処理ミスの件数はどのくらいか。
- (2) 事務処理ミスが発生した原因について、どのように考えているのか。
- (3) 事務処理ミス防止の取組について伺いたい。

2 水道水を飲んでもらう方策について

- (1) 水質の安全性をデータで示す取組について伺いたい。
- (2) 給水スポット事業の目的は何か。
- (3) 他都市の状況と海外における事例について伺いたい。
- (4) 給水スポットの具体的な設置場所とスケジュールはどうなっているのか。
- (要望) 水道水をおいしく飲んでもらう取組として、水質の安全性をデータで示す取組とともに、給水スポット事業を市民はもちろんのこと、海外や国内各地から訪れる皆様へ横浜の水のおいしさを伝える新規の取組として、推進するよう要望します。

3 水ビジネスの進捗状況について

- (1) 浄水場運転管理業務の進捗状況、23年度の取組及び今後の見通しについて伺いたい。
- (2) 給水装置工事給水審査・完了検査業務の23年度の取組について伺いたい。
- (3) 他事業体の水道関連業務の受託に向けた取組について伺いたい。
- (4) 研修事業の実施状況はどうか。
- (5) 研修事業の評判はどうだったのか。
- (6) 研修事業の23年度の取組について伺いたい。
- (7) 他都市の海外水ビジネスへの取組状況はどうか。
- (8) 国際関連事業の進捗状況はどうか。
- (9) 水ビジネスでの横浜の強みとは何か。
- (10) 国際関連事業の今後の取組について伺いたい。
- (11) 海外水ビジネスに向けた取組に対する意気込みを副市長に伺いたい。

7 杉山典子委員（ネット）

1 マンホールの鉄蓋の滑り止め対策について

- (1) 滑らない鉄蓋の研究状況はどうか。
- (2) 研究しているマンホールの滑り止めのコストはどのくらいか。
- (3) 既存マンホール鉄蓋の簡易な滑り止め方法について伺いたい。
- (4) 庁内での連携はとっているのか。
- (5) 全国的な連携の状況はどうか。

8 大 山 正 治 委 員 (民 主 克)

1 「水道・下水道使用水量等のお知らせ」のシーラー用紙の廃止について

- (1) 個人情報を保護する用紙を廃止するのはなぜか。
 - (2) 市民への周知と廃止時期はいつ頃なのか。
 - (3) 廃止することによる経費縮減はどのくらいか。
 - (4) 個人情報について心配をされている市民への対応はどのようにするのか。
- (要望) 料金明細をメール配信し、その場合、料金割引をするという方法もある。

すぐにはできないと思うが、こうした方法について検討するよう要望します。

2 おいしい水への取組について

- (1) 「おいしい水」とは何か。
- (2) 本市と他事業体との水質設定項目の違いはあるのか。
- (3) 安全でおいしい水を供給するためには、どのようなことを行えばよいのか。